

北米におけるシェールガス専用保険の販売開始

損害保険ジャパン日本興亜株式会社（社長：二宮 雅也、以下「損保ジャパン日本興亜」）は、Canopus Group Limited（損保ジャパン日本興亜100%出資の子会社、以下「キャノピアス社」）を通じて、北米で開発が進むシェールガスの掘削に関わるリスクを補償する「暴噴制御費用保険」の提供を2015年1月1日から開始します。

「暴噴制御費用保険」は、シェールガスの掘削過程で突発的に発生した暴噴により、坑井※に損害が生じた場合の回復費用を補償するものです。日系企業の海外事業を長年サポートしてきた損保ジャパン日本興亜の強みと、資源・エネルギーなどの専門分野で保険引受のノウハウを持つキャノピアス社の強みを活かし、シェールガスプロジェクトに参画する日系企業をサポートし、シェールガス開発事業の安定的な運営に貢献します。

※坑井・・・シェール層まで掘る井戸のこと。

1. 目的・背景

現在、北米では複数の地域でシェールガスプロジェクトが進行しています。開発・掘削の過程において暴噴が発生した場合、坑井を制御し、再掘削を行える状態に戻すために費用がかかるため、保険のニーズも高まっています。損保ジャパン日本興亜は、シェールガスプロジェクトの権益取得や運営を行う日系企業が増加していることを受け、キャノピアス社のノウハウを取り入れて保険の提供を開始することにしました。

2. 概要

- (1) 保険種目 暴噴制御費用保険
- (2) 被保険者 北米においてシェールガスプロジェクトの権益を持つ企業、プロジェクトのオペレーター
- (3) 補償内容 坑井が不測かつ突発的な事故により制御不能となった場合に、その制御を回復するために負担する費用（直接要した資材・装置、再掘削費用など）。
- (4) 引受開始日 2015年1月1日

3. 提供方法

シェールガスの探鉱・開発に関する保険の総代理店である Worldwide Facilities, Inc. を通じて、キャノピアス社が保険を引き受けます。損保ジャパン日本興亜は、キャノピアス社と連携し、保険設計のフォローなどを行います。

以上